

緊急注意喚起情報

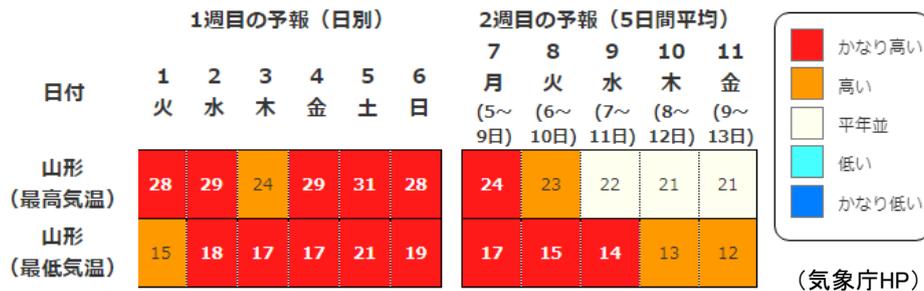
米づくり技術情報号外

令和6年9月30日

胴割粒多発の危険性高まる！ 刈取作業をペースアップし、丁寧な乾燥調製を！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

9月30日発表の2週間予報では、10月6日まで最高気温が平年より高い予報となっています。胴割粒や茶米の増加が助長され、品質低下が懸念される状況です。



◎今後の技術対策

- ・刈り遅れると胴割粒や茶米などの被害粒が急激に増加し、品質が低下します。農作業事故に十分注意し、刈取作業のペースアップを図りましょう。
- ・刈取り後は、過乾燥とならないように、ゆっくり・丁寧な乾燥を行いましょう。籾摺り時は、ロール幅等を調整し、肌ずれや砕粒、胴割粒がないことを確認しましょう。また、適切な選別網目を使用して整粒歩合を確保し、色彩選別機を積極的に使用して最上級の一等米に仕上げましょう。

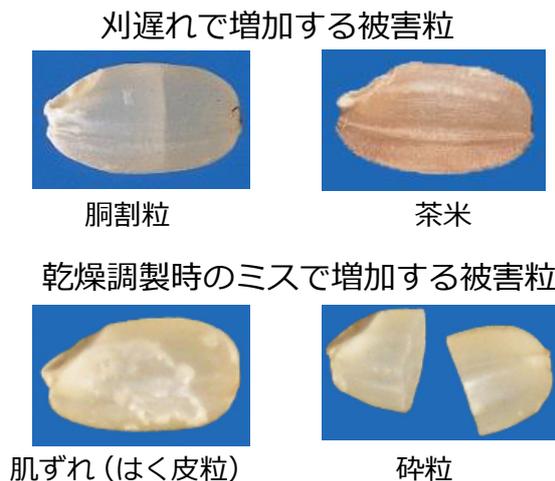


図1 刈遅れや乾燥調製時のミスで増加する被害粒、落等要因となる形質の例（農林水産省HP）

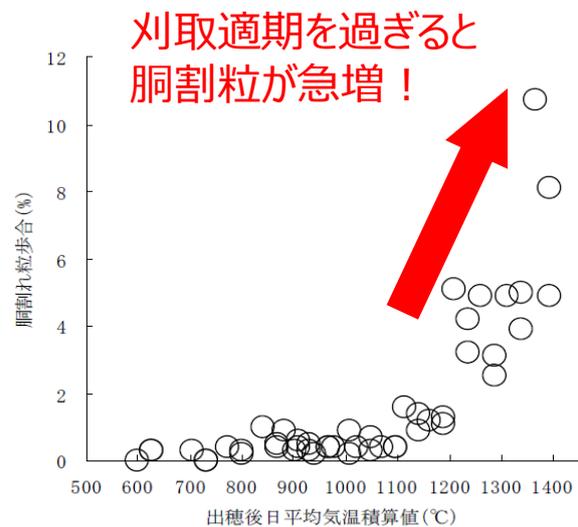


図2 「つや姫」の胴割粒歩合の推移 (H22、農総研セ m² 籾数2.8~3.5 万粒)

農作業事故に十分注意してください！

農作業は休憩と水分を十分にとりながら、余裕を持って複数人数で行いましょう。コンバイン作業では、特に「バック時の転倒・転落」「整備・修理中の巻き込まれ」に注意！